

# ニュースレター★人間健康 Vol.7 No.7

人間健康科学科では学科内の活動等を紹介するニュースレターを発行しています。

## 海外研修報告(海外インターンシップ研修)

海外インターンシップ研修(オーストラリア)で学んだMくんの報告です。



★  
私は、今回の海外インターンシップ研修でオーストラリアに3週間行かせていただきました。1週間はラングポーツ語学学校、2週間はローンパインコアラサンクチュアリヘインターンシップ、のべ3週間で、多くの事を学び、掲げていた目標を達成又は目標に近づくことができました。オーストラリアでは日本とは全く異なる環境、文化での中、生活面で以下の事が学べました。

一つは、シャワーを浴びる時間が5分程度という事です。同じ人間でも日本人は15分やそれ以上の時間を要する人もいるのに対し、オーストラリア人は皆5分～7分を目安に生活しています。これには理由があり、オーストラリアでは水がとても貴重なので国民が理解し、協力しあっているのです。

他には、語学学校の授業は10人ほどの少人数制で、一つ一つの授業で全員が発言できるようになっていました。生徒は世界中から来ていて、アジアの国々、UAE、フランス、ブラジル、コロンビアなど様々な国籍の生徒がいて、友達にもなれました。

他国の友達とコミュニケーションを交わしていて実感したことがあり、皆、老若男女関係なく自らの発言の後に「Because...」と言って理由を述べるのです。日本人同士のコミュニケーションではあまり見られませんが、海外の人は必ず理論立てて話すのです。私も同じように試してみると、物事の説明や難しい事柄を説明する時に複雑な英語を使えなくても言いたい事を伝えられました。このことは英語に限らず日本語にも置き換えられる事だと思いました。

学校やインターンシップ先以外で見つけた事は、オーストラリアの空は広く、自然が人間の生活の中心になっている事です。オーストラリアには日本とは比べものにならないくらい自然がたくさんあり、毎朝多くの人々が公園周りをジョギングしたり、街中に大きな天然芝の公園があり、そこでヨガをしている人がいたりしていました。

以上の事は日本人が見習わなければならない事ばかりだと強く思いました。

今回の海外研修で目標にしていた事は、次の3つです。

- 海外の友達をつくる
- 英語力を上げる
- オーストラリアの自然を肌で感じる



結果は、たくさんの友達ができ、  
出国前よりは英語が話せるようになり、  
オーストラリアの自然を肌でたくさん感じました。  
課題として、これからは、大学の英語の授業も兼ねて積極的に  
取り組み、次の留学に向けて更に英語力を上げる事が必要だと思  
いました。